



## 2019年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月10日

上場会社名 株式会社 サイゼリヤ

上場取引所 東

コード番号 7581 URL <https://www.saizeriya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀埜 一成

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼財務部長 (氏名) 潮田 淳史

TEL 048-991-9611

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年8月期第3四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	115,782	1.5	6,546	2.0	6,757	1.6	3,782	5.9
2018年8月期第3四半期	114,076	4.7	6,421	20.1	6,651	22.8	4,020	27.2

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 3,179百万円 ( 11.2%) 2018年8月期第3四半期 3,579百万円 ( 46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	76.97	76.92
2018年8月期第3四半期	81.31	81.01

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期第3四半期	106,909	84,958	78.9	1,725.61
2018年8月期	104,896	83,396	79.1	1,681.87

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 84,381百万円 2018年8月期 82,969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		0.00		18.00	18.00
2019年8月期		0.00			
2019年8月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,800	3.1	9,100	5.3	9,500	6.8	4,600	9.3	93.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期3Q	52,272,342 株	2018年8月期	52,272,342 株
期末自己株式数	2019年8月期3Q	3,372,759 株	2018年8月期	2,940,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期3Q	49,138,990 株	2018年8月期3Q	49,442,863 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費が回復基調となりました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化や中東情勢の悪化による不安定な株式市場、10月の消費税増税等から消費マインドが悪化に向かうリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

外食産業におきましては、昨今外国人労働者が増え続けており、人員不足を補う新たな戦力として積極的な登用が拡大しております。しかしながら、エネルギー価格や人件費の高騰など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、新規顧客獲得のため、お客さまに来ていただける商品の開発として、新技術や新製法の導入を進めていると同時に、既存店の改装や樹脂製食器の導入など、お客さまが安心安全に御食事頂ける環境作りに取り組んでおります。また2020年の健康増進改正法全面施行に伴い、当社では先行し、全店全席禁煙化を段階的に進めて参りました。当初2019年9月を完了予定としておりましたが、お子様連れや若年層のお客様の来店が増える夏休み前の6月1日より実施しております。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,157億82百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は65億46百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益は67億57百万円（前年同期比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、不採算店舗の減損損失を計上したことなどにより、37億82百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本

売上高は、既存店の不振等により881億2百万円（前年同期比0.3%減）、円高やEPAの影響による輸入食材価格低下から売上総利益は改善したものの、労務費の上昇、エネルギー価格の高騰による光熱費の上昇等により、営業利益は32億91百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

#### ②豪州

当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は32億21百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は81百万円（前年同期比90.6%増）となりました。

#### ③アジア

新規出店による新規顧客の獲得や店舗内外装のデザイン変更を行ったことなどにより、売上高は275億70百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は31億48百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産

当第3四半期連結会計年度末の総資産は1,069億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億13百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加36億70百万円、有形固定資産の減少15億12百万円などです。

負債合計は219億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億51百万円の増加となりました。主な要因は、賞与引当金の増加5億67百万円などです。

純資産合計は849億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億62百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は78.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2019年4月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,486	41,156
テナント未収入金	1,276	1,135
商品及び製品	6,372	5,915
原材料及び貯蔵品	700	901
その他	4,153	4,097
流動資産合計	49,989	53,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,677	24,705
機械装置及び運搬具（純額）	2,184	1,924
工具、器具及び備品（純額）	4,929	4,671
土地	6,939	6,927
リース資産（純額）	94	87
建設仮勘定	356	353
有形固定資産合計	40,182	38,669
無形固定資産	750	699
投資その他の資産		
投資有価証券	259	259
敷金及び保証金	10,217	10,343
建設協力金	480	347
繰延税金資産	2,782	3,116
その他	248	279
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	13,974	14,333
固定資産合計	54,907	53,702
資産合計	104,896	106,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,886	5,282
リース債務	9	9
未払法人税等	970	1,025
賞与引当金	1,271	1,839
株主優待引当金	249	283
資産除去債務	48	63
デリバティブ負債	-	38
その他	6,252	6,485
流動負債合計	14,688	15,028
固定負債		
株式給付引当金	478	564
リース債務	94	87
繰延税金負債	30	23
資産除去債務	5,992	6,046
その他	214	199
固定負債合計	6,811	6,922
負債合計	21,499	21,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,631	10,652
利益剰余金	67,727	70,609
自己株式	△6,020	△6,908
株主資本合計	80,951	82,965
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,017	1,415
その他の包括利益累計額合計	2,017	1,415
新株予約権	427	577
純資産合計	83,396	84,958
負債純資産合計	104,896	106,909

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	114,076	115,782
売上原価	41,744	41,748
売上総利益	72,332	74,034
販売費及び一般管理費	65,910	67,487
営業利益	6,421	6,546
営業外収益		
受取利息	174	200
受取配当金	0	-
為替差益	11	-
補助金収入	22	23
その他	54	53
営業外収益合計	263	277
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	-	11
自己株式取得費用	5	3
デリバティブ評価損	-	38
その他	26	10
営業外費用合計	33	66
経常利益	6,651	6,757
特別利益		
補償金収入	8	15
新株予約権戻入益	5	-
その他	-	0
特別利益合計	14	16
特別損失		
減損損失	464	929
固定資産除却損	76	90
店舗閉店損失	50	53
特別損失合計	591	1,073
税金等調整前四半期純利益	6,073	5,700
法人税、住民税及び事業税	2,147	2,283
法人税等調整額	△93	△366
法人税等合計	2,053	1,917
四半期純利益	4,020	3,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,020	3,782

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	4,020	3,782
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△441	△602
その他の包括利益合計	△441	△602
四半期包括利益	3,579	3,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,579	3,179
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。